

経営比較分析表（令和5年度決算）

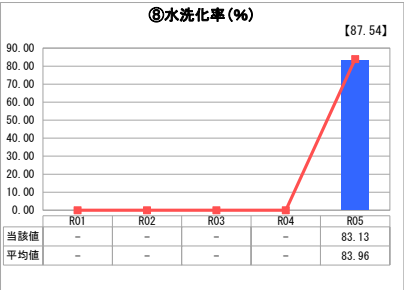
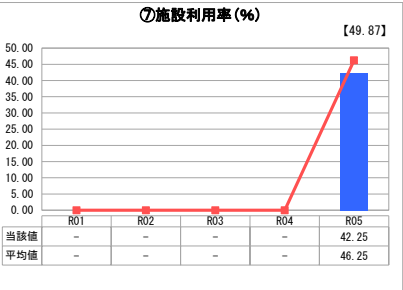
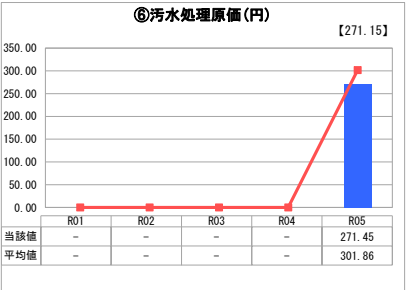
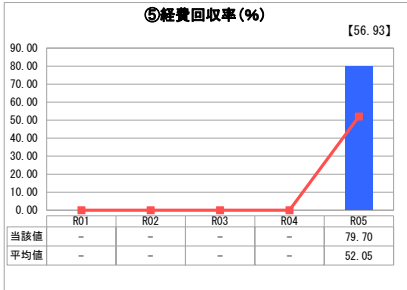
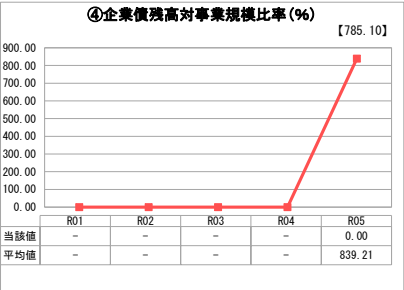
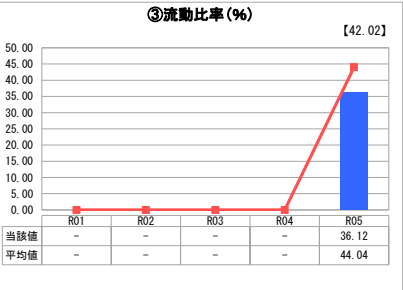
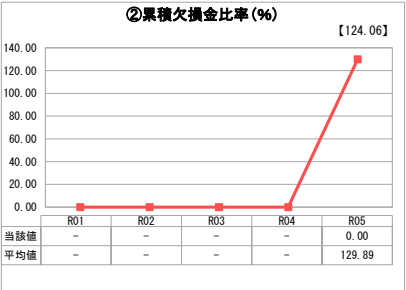
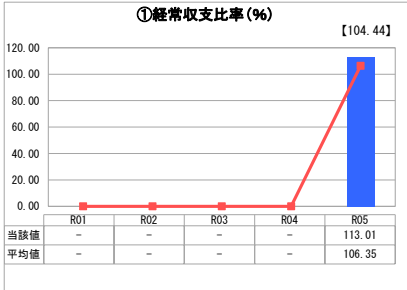
福島県 平田村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.90	32.44	100.00	4,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,512	93.42	59.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,766	2.17	813.82

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支率について、当年度の収支が100%を超えており単年度は黒字となっているが、一般会計補助金に依存する状況が続いているため、更なる費用削減や料金改定など料金での財源確保を検討していく必要がある。

③流動比率について、当年度の当該値が100%を下回っているため、現金等による支払い能力が低い結果となった。今後支払い能力を高めるための経営改善を図っていく必要がある。

⑤経費回収率については、類似団体平均値を超えている。しかし、100%を下回っており、今後の施設更新等の投資を考えると、更なる財源確保が必要となるため、料金改定などを検討する必要がある。

⑧汚水処理原価について、類似団体平均値より低く、比較的適正であると思われる。今後更に効率的な汚水処理を実施するにあたって有収水量、収入料金増加のために接続率の向上を図る。

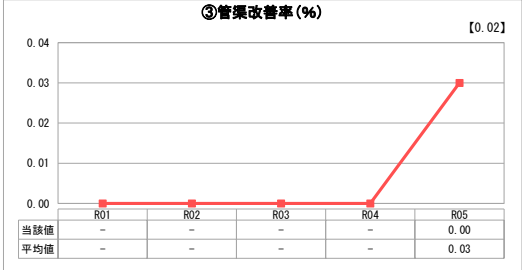
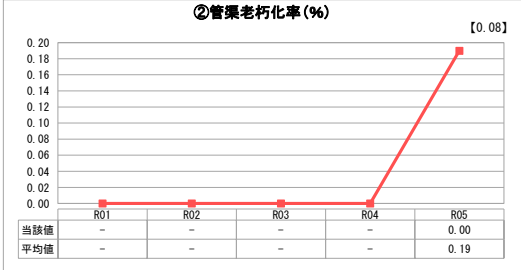
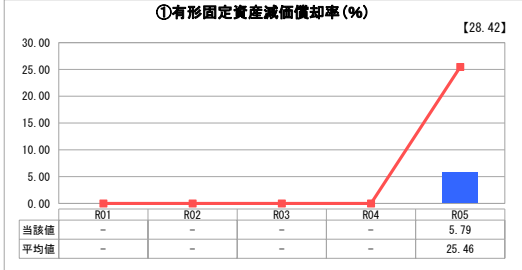
⑦施設利用率について、人口減少や処理数量減少から利用率も若干低下しているが、今後未加入世帯の接続を考えると適正だと思われる。

⑧水洗化率について、類似団体平均値よりも少ないため、更なる向上のため、加入促進を図る。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体と比べても低く適正であると思われるが、供用開始20年を経過する施設もあるため、策定した最適化構想を基に、計画的な更新を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

供用開始20年を経過する施設もあるため、策定した最適化構想を基に、計画的な更新を行っていく必要がある。

なお、現在一般会計補助金に依存する状況が続いているため、更なる費用削減や料金改定など料金での財源確保を検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。